



～白百合幼稚園～

# 議会だより やめ

No.157 平成29年8月1日

- P 2 **5月臨時会・6月定例会**
- P 4 **委員会審査**
- P 6 **現地調査を行いました** ～建設経済常任委員会～
- P 10 **ここが聞きたい!** 一般質問 **11人** の議員が登壇

# 平成29年5月臨時会

5月臨時会は5月22日の1日間で開催しました。市長から提案された議案は八女市税条例等の一部を改正する条例など議案3件で、いずれも原案通り可決しました。

## 八女市税条例等の一部を改正する条例について

### 【提案理由】

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律等の施行に伴い、軽自動車税におけるグリーン化特例について、対象を重点化した上で2年間延長すること、

保育の受け皿整備の促進のため、家庭的保育事業などに係る固定資産税の課税標準の特例措置の割合を規定すること等、所要の改正を行ったものである。

**問** 個人住民税関係の中で、上場株式の配当等については、この改正による影響はないのか。

**答** 上場株式等の配当についてはさほど影響はない。

**問** 住民税や所得税の申

告の仕方が曖昧だったため、今回の改正が行われたと理解するがそれでよいのか。

**答** 概ねそのとおりである。今回の改正は納税者のメリットになる方式を選ぶことができるように改正するものである。

メリットの一つは上場株式等の配当所得について所得税は総合所得、市県民税は申告不要制度、または申告分離課税を選択することで市民税等の税負担を抑えることができる。

2つ目は所得税は申告分離課税で損益通算や繰越控除を利用する一方、住民税は申告不要制度を選択し、国民健康保険料等の増加を抑えられる場合がある。

**問** 今回の改正で自動的に税金が抑えられるようになるのか。

**答** 自動的になるものではない。納税者がどの申告を選択するか、その中で所得税と住民税との申告方法を変えることを認めるといった内容である。

**問** 申告した場合は国民健康保険の所得として換算されるという事を明確に説明する必要があるのではないのか。

**答** ホームページ等を通じて案内したいと考えている。

**問** 軽自動車税のグリーン化特例について、不正な手段により国土交通大臣の認定を受けたことを理由として、その認定が取り消された場合は、軽減課税分である不足額を個人ではなく、自動車製作者に直接請求できるのか。

**答** そのとおりである。  
**問** 固定資産税の関係で家屋については価格の2分

分の1を参酌して3分の1以上3分の2以下の範囲内において市町村の条例で定める割合を課税するとなっているが、八女市の割合はどうなるのか。

**答** 地方税法を参酌してそれぞれ2分の1を軽減することとしている。

**問** 償却資産についても同じなのか。

**答** 条例で定めたとおり2分の1としている。近隣自治体を参考にした。

## 八女市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 【提案理由】

今年度から1日最大給水量を1千立方メートル増量したことに伴い、福岡県へ水道事業経営変更認可の申請を行う必要が生じたため、併せて計画給水人口の見直しを行い、3万6千3百人に変更するものである。

**問** 1日最大給水量を増

量するのであれば、計画給水人口も増えるのではないのか。

**答** 変更前の4万1千2百人については、市町村合併前の旧八女市、旧立花町、旧上陽町において平成6年度から15年度までの10年間の実績により、計画給水人口を定めていたものを、合併の際に水道事業に統合した際に単純合算した値になっていた。当時は旧八女市、旧立花町は第一次拡張事業が始まり、このような計画給水人口になった。



# 平成29年6月定例会

## 平成29年度一般会計補正予算(第1号) 1億7,591万9千円を追加

6月定例会は5月31日から6月20日までの21日間で開催しました。市長職務代理者から提案された議案は1億7,591万9千円を追加する一般会計補正予算など議案29件、報告3件でいずれも原案通り可決・同意しました。

### ■主な補正

| 主 な 事 業          | 補 正 額 (千円) |
|------------------|------------|
| コミュニティ助成事業補助金    | 4,000      |
| 国民健康保険事業費特別会計繰出金 | 164,419    |
| 地域密着型等施設等整備補助金   | 3,500      |
| 消防団詰所解体工事費       | 4,000      |

### ■主な報告事項

#### 《報告第6号》

八女市一般会計予算事故  
繰越し繰越計算書の報告  
について

#### 【報告理由】

矢部村ですすめられている山村滞在施設整備事業について、平成28年度内の完了が不可能となり、翌年度に支出するため、その繰越計算書を報告するものである。

**問** 事故繰越しについては、造成工事が主として理解してよいか。

**答** 熊本地震復旧工事等の影響により、造成工事のための資材が入手困難になったため、事故繰越しをしたものである。

**問** 熊本地震発生から数か月たっているが、資材の入手について努力されたのか。

**答** 熊本地震の影響が非常に甚大であり、資材の

入手のため努力したが、3月末までには手配できなかった。  
その後、工事は5月末に完了している。



厚生

審査の主なもの

- 八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定  
(全員賛成で可決)
- 平成29年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号)  
(全員賛成で可決)
  - ・国保情報集約システムデータ連携対応業務委託料 129万円
- 平成29年度八女市一般会計補正予算(第1号) (全員賛成で可決)
  - ・国民健康保険事業特別会計繰出金 1億6441万円
  - ・地域密着型施設等整備補助金 350万円

**問** 福岡県との共同運営の具体的内容やスケジュールは決まっているのか、また市民にとって何がかわるのか。

**答** 未だ詳細は決定していないが、年内にはまとまる予定である。市民にとっては、特に変更になることはないと考えている。

**問** 国保情報集約システムデータ連携対応業務委託料として、当初予算572万円に129万円を追加

**問** 福岡県との共同運営する理由は。

**答** 福岡県全域における保険者の情報が必要になるため、新しいシステムを導入する目的で当初予算を計上したが、より効率の良いシステムに変更するために補正を組んだ。

**「小規模多機能ホームよか」よか「8月オープン」**

**問** 補助金対象の小規模多機能型居宅介護施設はどのくらいか。

**答** 黒木町笠原に社会福祉法人高峰福祉会が「小規模多機能ホームよか」を8月に開設予定である。

**問** 事業費の負担は全額を県が負担するのか。

**答** 1床あたり50万円が県の補助基準で、この施設は宿泊定員が7床のため350万円が補助基準となる。これを超える事業費は事業者負担となる。

【現行】市町村が個別に運営 → 【改革後】都道府県が財政運営責任主体



国民健康保険運営の改革イメージ

総務文教

審査の主なもの

- 平成29年度八女市一般会計補正予算(第1号) (全員賛成で可決)
  - ・消防費 400万円
  - ・企画費 400万円

八女市消防団星野支団第1分団第2部消防詰所解体工事

今年の4月17日の大雨において、消防詰所として借地していた民有地が崩落して、詰所の基礎部分が一部露出し危険な状態であり、建物を維持していくことが困難な状況であり、解体するものである。

**問** 消防詰所の解体工事費としては予算が高すぎはしないか。

**答** 崖の上に建っている立地条件のため危険が伴う。また鉄筋コンクリート等の産業廃棄物処理費用がかかる。

**問** 今後、入札を実施するのか。

**答** 緊急を要するため3者見積の随意契約を実施し

**問** 解体後、同じ場所に建てるのか。

**答** 今回の崩落で敷地面積が減少しており、カーブで条件も悪いので、移転先を探している。



詰所裏の崩落箇所



委員会審査とは？

本会議においてそれぞれの常任委員会に付託された議案を審査することです。

常任委員会とは？

議案などは、最終的には本会議で決定されますが、行政の範囲が広く、複雑なため、本会議で詳しく審議することが難しいので、いくつかの委員会が置かれています。

常任委員会は、担当す

る事務の調査や議案、請願を効率的、専門的に審査します。

八女市議会には、「総務文教」、「厚生」、「建設経済」の三つの常任委員会があり、議員はいずれか一つの委員会に所属しています。

## 議会の動き

### 5月

- 8日 総務文教常任委員会所管事項調査  
(福岡県消防学校・筑後地域消防指令センター)
- 10日 全員協議会  
厚生常任委員会
- 17日 全国自治体病院経営都市協議会総会  
(東京都)  
総務文教常任委員会
- 22日 議会運営委員会  
平成29年第2回臨時会  
タブレット端末導入専門部会
- 24日 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 26日 議会運営委員会
- 31日 平成29年第3回定例会(招集日)  
全員協議会  
タブレット端末導入専門部会

### 6月

- 5日 本会議(一般質問)～9日  
議会報告会正副班長会
- 9日 タブレット端末導入専門部会
- 12日 本会議(議案審議)  
予算審査特別委員会全体会  
議会だより編集委員会
- 14日 委員会・分科会
- 19日 予算審査特別委員会全体会  
議会運営委員会
- 20日 平成29年第3回定例会(最終日)  
タブレット端末導入専門部会

### 7月

- 5日 全員協議会  
厚生常任委員会
- 7日 議会だより編集委員会
- 10日 タブレット端末導入専門部会
- 12日 建設経済常任委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 20日 全国森林環境税創設促進議員連盟  
定期総会(高知県高知市)
- 25日 八女地区消防組合議会(臨時会)
- 31日 総務文教常任委員会所管事項調査  
(上陽北内学園、矢部小学校、矢部中学校、日向神ダム管理出張所)

## タブレット端末導入専門部会 ～ペーパーレス化実現に向けて～



佐賀県みやき町への視察

昨年11月、議会運営委員会が、タブレット導入について、兵庫県西宮市と福岡県嘉麻市を視察研修し、12月の全員協議会において報告をしました。

事務局においても自治体向けのICT推進セミナーに参加するなど視察・調査を進めました。

4月に議員と議会事務局でデモを実施し、同時に全員協議会において、タブレット端末導入専門部会(各常任委員会から2名)が発足しました。

タブレット端末を導入するとともに、導入に至るまでに必要な端末、通信の業者選定、議員、議会事務局、執行部との連携などを検討していきます。

### 【タブレット端末導入による効果】

- 1 紙代・印刷費の削減
- 2 通信費・人件費の削減
- 3 議会の活性化および審議の深化
- 4 市政情報等の資料携行による市民への説明力向上
- 5 災害時の緊急連絡および情報収集の迅速化
- 6 議会ICT化の推進および開かれた議会を目指す第一歩となる

# 現地調査を しました

建設経済常任委員会  
4月28日



①池の山キャンプ場入口付近拡幅現場



③市道石割岳線、拡幅予定現場



②国道442号宮野尾橋架け替え予定現場

昨年3月オープンした「杣のさと」で、1年経過した概況と今後の計画について報告を受けた。

④八女市矢部地区観光物産交流施設「杣のさと」調査

市道中箸中原峠線、全長180mの拡幅予定現場調査。

市道椿原高峰線、70mの舗装予定現場調査。

③黒木支所管内 市道石割岳線、全長650mの拡幅予定現場調査。

②矢部支所管内 昨年の地震災害による国道442号宮野尾橋架け替え予定（計画延長305m橋梁部92m）現場調査。

①星野支所管内 市道古野麻生線、池の山キャンプ場入口付近の90mと40mの拡幅現場等を調査。



④八女市矢部地区観光物産交流施設「杣のさと」

建設経済常任委員会では、所管する市道や建物の改良や運営などについて随時視察を行い、今後の計画課題等を調査した。

3月オープン直後の地震の影響で客足が減ったが、他の観光施設との連携や夜間のビアガーデン等の営業努力により少しずつ回復し、今年3月までの1年間で5千万円を超える売上げとなった。今後、福祉関係の弁当配達など営業枠を拡げていくなど報告があった。

「調査を終えて」  
各支所管内の道路改良等の調査において、生活道路として日常的に使用される道路については、より迅速に改良工事を望むものである。観光物産館においては、地域活性の柱としてさらなる観光客の集客に努めてもらいたい。今後も、直接現場に出て、市民の安心安全に努めていきたい。

# 人事案件

## 農業委員会委員

次の方を選任することに同意しました。

|    |   |    |   |   |
|----|---|----|---|---|
| 中  | 村 | 輝  | 義 | 氏 |
| 牛  | 嶋 | 徹  | 也 | 氏 |
| 平  | 島 | 雅  | 夫 | 氏 |
| 川  | 口 | 隆  | 男 | 氏 |
| 塚  | 本 | ちる | 子 | 氏 |
| 溝  | 尻 |    | 修 | 氏 |
| 田  | 村 | 一  | 彦 | 氏 |
| 茅  | 島 | 澄  | 雄 | 氏 |
| 樋  | 口 | 悦  | 雄 | 氏 |
| 仁田 | 原 | 政  | 美 | 氏 |
| 城  | 後 | 公  | 一 | 氏 |
| 久  | 間 | 絹  | 子 | 氏 |
| 小  | 川 | 哲  | 郎 | 氏 |
| 大  | 坪 | 知美 | 子 | 氏 |
| 中  | 島 | 秀  | 徳 | 氏 |
| 高  | 山 | 和  | 典 | 氏 |
| 宮  | 園 | 福  | 夫 | 氏 |
| 隈  | 本 | 俊  | 光 | 氏 |
| 月  | 足 | 靖  | 彦 | 氏 |
| 草  | 場 | 紀  | 彦 | 氏 |
| 栗  | 原 | 英  | 喜 | 氏 |
| 大久 | 保 | 義  | 治 | 氏 |
| 今  | 村 | 嗣  | 範 | 氏 |
| 鶴  | 木 | 利  | 通 | 氏 |

## 人権擁護委員

次の方を選任することに同意しました。

|    |     |    |
|----|-----|----|
| 原  | 順三郎 | 氏  |
| 小川 | ひろし | 完氏 |

### 人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱された民間の人たちです。この制度は、地域住民の中から人格見識の優れた人たちを選び、その協力を得て、日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していくという考えから設けられたものです。

### 農業委員会委員とは

地域の農業・農村の振興のため市町村に設置されている農業委員会の委員です。

- ①農地法に基づく許認可（法令業務）
- ②地域農業の振興を図るための活動
- ③農業施策に関する意見の公表、行政庁への建議などを行います。法律の一部改正により、これまで選挙で行われていた農業委員の選任が市長任命による選任に変更になり、委員定数が45人から24人になりました。また、担当区域における農地利用最適化の推進のための現場確認を行う農地利用最適化推進委員（45人）が新設されました。





# 教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願

請願者 堀川 誠作  
紹介議員 田中 栄一

総務文教常任委員会に付託された本請願は審査の後、本会議において賛成多数で採択され、関係行政庁へ意見書を提出しました。



## 教育予算の拡充を求める意見書

35人以下学級について、小学校1年生、2年生と続いてきた35人以下学級の拡充が予算措置されていません。

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっています。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、ひとクラスの学級規模を引き下げる必要があります。文部科学省が実施した「今後の学級編制及び教職員定数に関する国民からの意見募集」では、約6割が「小中高校の望ましい学級規模」として、26人～30人を挙げています。このように、保護者も30人以下学級を望んでいることは明らかです。

社会状況等の変化により学校は、一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要となっています。また、新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加しています。日本語指導などを必要とする子どもたちや障害のある子どもたちへの対応等も課題となっています。いじめ、不登校等生徒指導の課題も深刻化しています。こうしたことの解決にむけて、計画的な定数改善が必要です。

子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。しかし、教育予算についてOECDの2016年のデータでは、GDPに占める教育費の割合は、加盟国（データのある31カ国）の中で日本は30位となっています。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫するとともに、非正規雇用者の増大などにみられるように教育条件格差も生じています。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があります。こうした観点から、政府の予算編成において下記事項の実現を要請します。

### 記

- 1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模はOECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年6月20日

福岡県八女市議会

提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

# 地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願

請願者 角田 恵 司

紹介議員 田 中 栄 一

総務文教常任委員会に付託された本請願は審査の後、本会議において全員賛成で採択され、関係行政庁へ意見書を提出しました。



## 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療・介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行やマイナンバー制度への対応、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

一方、公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があります。

このため、2018年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要です。よって、下記の事項について実現されるよう要望します。

### 記

- 1 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
- 2 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
- 3 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業などの拡充と十分な期間の確保を行うこと。
- 4 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」「まち・ひと・しごと創生事業費」等については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年6月20日

福岡県八女市議会

提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣  
内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）



# 一般質問

| 月 日             | 質問者                 | 質問事項                                 |              |
|-----------------|---------------------|--------------------------------------|--------------|
| 6月5日<br>(月)     | 三角 真弓               | 1 自殺対策について                           |              |
|                 |                     | 2 産婦健康診査、新生児聴覚検査体制整備事業について           |              |
|                 | 伊井 渡                | 1 子育て支援の所得制限について                     |              |
|                 |                     | 2 低所得者への結婚サポートについて                   |              |
|                 | 井本 政弘               | 1 副市長の職務代理について                       |              |
|                 |                     | 2 市中心部の観光化について                       |              |
|                 |                     | 3 6次産業化への市のかかわりについて                  |              |
|                 | 石橋 義博               | 1 ふるさと支援金の活性と企業版ふるさと支援金の内容と取組みについて   |              |
|                 |                     | 2 企業誘致の進捗状況について                      |              |
|                 |                     | 3 本庁舎の新築計画について                       |              |
|                 | 6月8日<br>(木)         | 角田 恵一                                | 1 茶業振興対策について |
|                 |                     | 森 茂生                                 | 1 基金について     |
| 2 マイナンバーについて    |                     |                                      |              |
| 3 安心安全の町づくりについて |                     |                                      |              |
| 牛島 孝之           |                     | 1 母子生活支援施設（ひまわり園）の今後のありかたについて八女市の考えは |              |
|                 |                     | 2 行政区の再編について                         |              |
|                 |                     | 3 今後の八女市の教育について                      |              |
| 橋本 正敏           |                     | 1 運転免許証自主返納者に対する支援について               |              |
|                 | 2 八女市への観光客の受け入れについて |                                      |              |
| 6月9日<br>(金)     | 高橋 信広               | 1 ふるさと納税について                         |              |
|                 |                     | 2 防災・減災対策について                        |              |
|                 |                     | 3 国保法等改正による新制度について                   |              |
|                 | 松崎 辰義               | 1 子どもの貧困について                         |              |
|                 |                     | 2 山村滞在施設整備事業について                     |              |
|                 |                     | 3 環境問題について                           |              |
|                 | 小川 栄一               | 1 子どもの貧困対策推進計画について                   |              |
|                 |                     | 2 市の条例等に定められた会議について                  |              |
|                 |                     | 3 教員による学童へのハラスメントについて                |              |



## 一般質問とは

市の政治、行政全般にわたり、市長の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。議員は、質問により、政治、行政などに対し、自己の意見を表明することができます。議会だよりの一般質問原稿も自ら作成していますが、字数制限があるため、すべての質問答弁を掲載することができません。ここに掲載できない質問答弁は八女市ホームページ等でご覧ください。



三角 真弓

国民健康保険医療費の15%が精神疾患という実態にどう取り組むのか

答

心理相談、スクールカウンセラー等の相談事業で対応



見解、事実の説明、報告を求めらるものです。議員は、質問により、政治、行政などに対し、自己の意見を表明することができます。

議会だよりの一般質問原稿も自ら作成し

ていますが、字数制限があるため、すべて

の質問答弁を掲載することができません。

ここに掲載できない質問答弁は八女市ホー

ムページ等でご覧ください。

**問** 平成23年度から精神疾患の医療費の割合が15%を示している状況の中

取り組んでいく。計画については、県の計画を参考に

中で自殺対策の計画をどのように考えていくのか。

**問** 物質的な豊かさだけでは埋める事のできない人間の心の寂しさ、孤独感

**答** 市の関係課、リーベルや社会福祉協議会等の相談業務で温かい心、傾聴

に基づき真心の対話で和らげ、生きる希望と勇気を与えるよう支援を行う

配慮を加えながら事業に

**問** 具体的な取組みは。早期発見、早期療育も鑑み近隣の状況をみる。

配慮を加えながら事業に

早期発見、早期療育も鑑み近隣の状況をみる。

「精神対話士」の活用で、うつ対策の予防としての位置づけを図るべきでは。

**答** 先進地の取組みをみながら検討していく。

**問** 全国的にも15歳から39歳の死因の1位は自殺であり、産後うつも増加している。9月議会の補正予算で「精神対話士」の予算を確保しては。

**答** 1度検証してみる。

産婦健康診査、新生児聴覚検査体制整備事業について

**問** 具体的な取組みは。

**答** 早期発見、早期療育も鑑み近隣の状況をみる。

## 入学、出産祝金等事業は所得制限を設け、 貧困家庭等のみに支給すべきでは



伊 井 渡

### 子ども貧困世帯の現状

平均的な所得の半分以下の貧困世帯の子どもは、全国平均で16・3%（6人に一人）にも上ります。特にひとり親世帯では5割強にもなり、衣食住はどうかなくても教育費が確保できず、進学、就職が思うようにいかない、夢や希望を持ってない、貧困の連鎖に陥るなど深刻な状況にあります。

**答** 若者定住促進対策事業であり、所得制限は考えていない

**問** 入学、出産祝金事業、2万円の家賃支援をしている子ども医療対策事業、総額2億6千万円の事業だが、貧困家庭等に限定して支給すれば1億5千万円以上の財源が確保できる。

**答** この財源で収入が少ない等の理由で、結婚を諦めねばならない方々の家賃、生活費等を財政支援し、一人でも多くの方が結婚できるように行政は優先的に取り組むべきです。

**問** 例え入学祝金3万円を支給するのにも、事務経費が1千円程はかかっていると思うが、この3万円も元々は税金であり、これでは市民は3万円支給されるのに3万1千円ほど税金を払っていることになる、損をしている事になるのでは見直すべきではないか。

**答** これらの事業で見込みより児童が増えた。経費よりメリットの方が大きいと考えます。



井 本 政 弘

## 八女市中心部の伝統的 建造物群保存地区内に 外国語の案内板を

**答** 八女福島町並み景観ルールで、看板は設置できない



福島 の 町 並 み

**問** 伝統的建造物群保存地区を中心に、建物や道路等の整備により観光地化が進んでいる。外国からの個人やグループの観光客のための案内板（英語・韓国語・中国語）が必要ではないか。

**答** 町なかの地図を英語・韓国語・中国語のパンフレットを用意している。独立した広告塔や看板は八女福島町並み景観ルールにより設置できないことになっている。

**問** 市長職務代理者の権限の範囲は。

**答** 原則として職務権限の全てに及ぶが、その権限の行使については必要最小限に限られると考えている。

**問** 農林業の6次産業化の推進とともに、6次産業へのしようがい者の就労支援に取り組んでほしい。

**答** 市内の優良な農林産物を生かした加工品の開発や販売戦略など、新規6次産業化に向けて積極的に支援していきたい。また八女地区障害者等自立支援協議会の中で、農福連携について検討する場を設置する方向で進めている。

**問** 市長職務代理者について

**答** 原則として職務権限の全てに及ぶが、その権限の行使については必要最小限に限られると考えている。

# ふるさと支援金の活性と企業版ふるさと支援金の内容及び取り組み状況は



石橋 義博

**答** 全国に向け、商品のPRと販売拡大に積極的に取り組む

**問** ふるさと支援金の活性と企業版ふるさと支援金の内容及び取り組みは。

**答** 新聞、雑誌等の広告を活用し積極的に全国に向けた商品PR、販路拡大等地域産業活性化に貢献することを目的に努力している。企業版ふるさと支援金については制度に基づき、本市に寄付していただける企業の発掘に努めている。

**問** 企業誘致の進捗状況と取り組みは。

**答** 少子・高齢化対策や



過疎対策を推進する上で、定住促進や安定した雇用確保のために積極的に取り組んでおり、その中で前古賀工業団地予定地への現在の取組みについては農業振興地域からの除外手続きについて早期解決に向けて継続して国、県と協議している。

**問** 本庁舎の新築計画について

**答** 現在の庁舎の問題点を把握することも他市を視察調査し情報収集を行い、新庁舎建設に向けて準備している。

**問** 現在の栽培面積及び生産者数は。

**答** 面積は20・8ha、生産者は188人である。

**問** 現在取り組んでいる施策及び今後の課題は。

**答** 10アール当りの手摘み経費の2分の1相当額を交



八女伝統本玉露園



角田 恵一

付し、生産者の負担軽減を図っている。課題として、被覆資材の確保、摘み手労働力の確保が難しくなっている。

**問** 地理的表示保護制度登録後の取り組みは。

**答** 地方創生交付金を活

**答** 八女伝統本玉露生産を継続して行くためにどう取り組んでいくのか

**答** 推進協議会を中心に関後とも課題解消に努めていきたい

用しブランドの再構築を進めている。今後は、伝統本玉露を生産性のある価格帯で流通させ、生産者が希望ある経営ができるよう持続的な取組みをしていく。

**問** 関係団体との連携をどう強化していくのか。

**答** 生産者、販売者、茶業の指導機関等で構成している推進協議会を中心に効果的な事業を展開している。

**問** 観光産業との関わりをどうしていくのか。

**答** 八女茶に興味のある国内外の観光客が増加している。「旅する茶のくにパフツアー」などを積極的に活用している。



# 個人番号（マイナンバー）を提出しないことによる不利益は

**答** 不利益処分を行うことはない



森 茂 生

財政調整基金（自治体の貯金）

|    |      |       |
|----|------|-------|
| 1位 | 福岡市  | 223億円 |
| 2位 | 八女市  | 124億円 |
| 3位 | 北九州市 | 119億円 |
| 4位 | 飯塚市  | 88億円  |
|    | 筑後市  | 24億円  |
|    | 大牟田  | 23億円  |
|    | 広川町  | 19億円  |

平成27年度（総務省資料より）



## 財政調整基金について

**問** 市の財政基金は県下で2番目に多い124億円。財政規模からすれば極端に多い。住民福祉等に還元すべきでは。

**答** 財源不足と災害に備えが必要。

## 個人番号について

**問** 八女市が、5月に事業所に送付した住民税の通知書に、事業所に自分の個人番号を知らせていない人の分も含め、全従業員の個人番号を記載して送付した。しかも本人の了解を得ないで。市が個人番号を漏えいしているのではないのか。個人番号を記載しなければ、

## 住民税の徴収に支障があるのか。

**答** 今まで徴収できたのだから支障はないと考えられる。

## 安心・安全の町づくり

**問** オレオレ詐欺等には必ず名簿が利用されている。警察や消費者庁が押収した名簿、いわゆる「カモリスト」といわれる名簿を事前に入手すれば、詐欺被害等を予防することができるといわれる。その名簿を入手するには、地域協議会を設置する必要がある。その考えは。

**答** 必要性を感じている。前向きに考えます。



牛 島 孝 之

## 検討委員会の答申に対する市の考えは。

**答** 中長期的に望まれる新たな機能の導入についても施設の修繕、改修と並行して検討していきたい。

## 行政区の再編について

**問** 行政区の再編についての啓発は行われているのか、また住民説明会の計画は。

**答** 行政区再編に関しては、行政区再編推進特別奨励金制度を運用することでその支援を行っている。住民説明会については現段階で具体的な計画はない。

**問** 平成26年度小規模行

## 母子生活支援施設（ひまわり園）の今後のあり方についての考えは

**答**

小規模改修による施設の長寿命化も検討する



八女市母子生活支援施設ひまわり園

政区については、再編について住民にその機運が高まるよう啓発していくと実施計画はあるが「実施計画」の結果は。

**答** 事業実施実績はない。今後の八女市の教育について

**問** 午前中5時限授業、部活指導員制度についての考えは。

**答** 午前中5時限授業については実施している学校の成果や課題を注視していきたい。部活指導員については県等の動向を踏まえ検討したい。

## 運転免許証自主返納者に対する現在の支援策と利用者数は



橋本正敏

**答** 市の支援策はない。堀川バス、西鉄バスにはある



ふる里タクシー

**問** 自主返納者はもとより家族の負担は大きなものになる。快適な老後を送るためにも独自の支援策が必要では。

**答** 県内60市町村のうち20市町村が支援を始めています。乗り合いバスのIC乗車券、コミュニティバスの回数券、タクシーの利用券など早急に研究し、新年度に向けて進めていく。

**問** 八女市における外国人観光客数と形態は。

**答** 本市では、調査してないので数は確認できないが、アジア圏から多く、

**問** 個人で来訪される方が増えてきている。

**答** 観光地での外国語表示、Wi-Fiの設置など今後の対応は。

**問** 観光地での外国語表示、Wi-Fiの設置など今後の対応は。

**答** 外国語のパンフレット作製、動画を取り入れたホームページの充実、体験プログラムの受け入れ英語版を作成する。

**問** これから増える体験型観光に対する考えは。

**答** キウイの収穫、棚田の石積み、タケノコ掘りなど日帰りの体験をやっていく。今後、2泊、3泊して体験する観光を目指していく。

**問** 九州電力と、災害による停電などの復旧を早期に行うために協定を結んでいる。具体的には、八女市東部を中心にエリア毎に設備や機材を持ち込んで復旧拠点となる、いわゆる前線基地（例：黒木開発センター）を設定すること、復旧工事をスムーズに運ぶことが目的である。

**問** 国の補助事業であるWi-Fi環境整備に取り組む計画はあるのか。

**答** 避難所の防災拠点に整備できないか検討している。



高橋信広

### 防災・減災について

**問** 電気に対する現在の備えはどのようにしているのか。

**答** 九州電力と、災害による停電などの復旧を早期に行うために協定を結んでいる。具体的には、八女市東部を中心にエリア毎に設備や機材を持ち込んで復旧拠点となる、いわゆる前線基地（例：黒木開発センター）を設定すること、復旧工事をスムーズに運ぶことが目的である。

**問** 国の補助事業であるWi-Fi環境整備に取り組む計画はあるのか。

**答** 避難所の防災拠点に整備できないか検討している。

**問** 4月1日付けの総務省通知をどのように受け止め、今後どう取り組んでいくのか。

**答** 基本的には見直しは必要ないが、一部の返礼品が高額且つ還元率50%を超えているものについては、ある一定の検討が必要と考えている。

**問** 返礼品には八女茶をはじめ贈答品に向く品物が多く、中元や歳暮に活用できるよう検討してはどうか。

**答** 即答はできないが、諸手続きを含め事務方で検討させる。

## 八女市においても防災士の育成が必要ではないか

**答** 必要性を感じており来年度の事業を見据えて検討したい



# 子どもの貧困対策推進計画事業は、数値目標を掲げて実施すべきでは

**答** 進捗状況を把握する手だての一つとして勉強する



松崎 辰義

## 子育て世代包括支援センター事業のイメージ

○子育て世帯包括支援センター事業の開始後  
 ・関係機関の連絡調整。  
 ・すべての妊産婦の状況を継続的に把握し、必要な支援を切れ目なく提供。



**問** 平成31年度から、子育て世代包括支援センター事業が開設されるとあるが、来年度ではなく1年間先延ばした理由は、

**答** 先進地の調査、さらには事業内容の充実、職員体制の配置、予算の確保等で、来年度の実施は厳しい。

**問** この事業の担当課は子育て支援課と健康推進課とあるが、18歳までの9年間は義務教育期間である。担当課として学校教育課が入っていないのはどうしてか。

**答** 対策委員会の中で検討する。

**問** 以前から要望してきた準要保護基準の見直し、1.3倍から1.5倍への拡大は今後どのように考えているのか。

**答** 八女市奨学金制度を充実するなど、いろいろな形で努力をしている。

**問** 環境問題について

**問** うすま・ふぁーむ

**答** 今年12月が更新時期になっているが、市の対応についてはどのように考えているのか。

**答** 今後、12月までには時間があるので、県との協議も含めてきちんとした対応を要望する。



小川 栄一

**問** 計画書中、支援施策の第一に、要保護児童対策地域協議会の活動強化を示しているが、直接関係があるのか。

**答** 直接はない。支援体制の一つである。

**問** 計画では数多くの施策が並べてあるが、貧困そのものにポイントを当てて実行すべきでは。

**答** それぞれの取組み・課題について、5年間の数値目標を挙げてやる。

**問** 進行管理を子ども子育て会議がやることになっているが、やり方は。

**答** 大学の先生、保護者代表、保育所幼稚園代表、民生児童委員、学校関係者で構成する会議で、年2回の会議で評価をしようとしている。

**問** 貧困対策委員会が責任を持ってやる。委員長は、市民福祉部長であるとの認識でいいか。

**答** そのとおりである。

**問** 子どもの貧困対策は、どこが主体になって進められるのか

**答** 全庁の課長で組織する子どもの貧困対策委員会である





# 全国市議会議長会表彰

第93回全国市議会議長会定期総会（平成29年5月24日）で、市議会議員として長きにわたり市政の振興、発展に尽くされた功績により、表彰を受けられました。



樋口 良夫議員  
(議員 10 年以上)



栗原 吉平議員  
(議員 10 年以上)



寺尾 高良議員  
(議員 10 年以上)



大坪 久美子議員  
(議員 10 年以上)



表彰状伝達式

## チャレンジデー2017



スポーツ推進員の大坪さん



全議員でラジオ体操!

### 全議員で体を動かしました

5月31日、「チャレンジデー2017」が開催されました。毎年5月の最終水曜日に開催され、人口がほぼ同じ自治体間で、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の数（参加率）を競うものです。

八女市では、2回目の開催となり、初参加の昨年は、福島県伊達市に見事勝利をおさめ、今年も、秋田県湯沢市と対戦しました。

議会においても、スポー

ツ推進員の大坪初次郎さんの指導のもと、全員協働で15分間ラジオ体操、ストレッチ運動で体を動かしました。

今回は、秋田県湯沢市に惜敗する結果となりましたが、日頃から運動すること、健康を保つ取り組みを議会としても推進してまいります。



# 5月臨時会で審議した議案の賛否

○ 賛成 ● 反対 欠 欠席

|                  | 1     | 2    | 3    | 4   | 5    | 6    | 7    | 8   | 9    | 10  | 11   | 12   | 13   | 14   | 15   | 16   | 17   | 18   | 19   | 20   | 21  | 22   | 23   | 24   | 25   | 26   |                  |
|------------------|-------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------------------|
|                  | 大坪久美子 | 橋本正敏 | 田中栄一 | 堤康幸 | 高橋信広 | 小川栄一 | 石橋義博 | 伊井渡 | 牛島孝之 | 萩尾洋 | 角田恵一 | 服部良一 | 中島信二 | 吉田達志 | 寺尾高良 | 栗原吉平 | 樋口良夫 | 三角真弓 | 井本政弘 | 中島富定 | 森茂生 | 栗山徹雄 | 井上賢治 | 松崎辰義 | 樋口安次 | 川口誠二 |                  |
| 報告第2号            |       |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      | 議長職のため採決には加わりません |
| 報告第3号            |       |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |                  |
| 報告事項のため、採決はありません |       |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |                  |
| 議案第50号           | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | 欠    |                  |
| 議案第51号           | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | 欠    |                  |
| 議案第52号           | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ●    | ○    | ○    | ●    | 欠    |                  |

# 6月定例会で審議した議案の賛否

|                      | 1       | 2    | 3    | 4   | 5    | 6    | 7    | 8   | 9    | 10  | 11   | 12   | 13   | 14   | 15   | 16   | 17   | 18   | 19   | 20   | 21  | 22   | 23   | 24   | 25   | 26   |                  |
|----------------------|---------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------------------|
|                      | 大坪久美子   | 橋本正敏 | 田中栄一 | 堤康幸 | 高橋信広 | 小川栄一 | 石橋義博 | 伊井渡 | 牛島孝之 | 萩尾洋 | 角田恵一 | 服部良一 | 中島信二 | 吉田達志 | 寺尾高良 | 栗原吉平 | 樋口良夫 | 三角真弓 | 井本政弘 | 中島富定 | 森茂生 | 栗山徹雄 | 井上賢治 | 松崎辰義 | 樋口安次 | 川口誠二 |                  |
| 平成28年請願第3号           | ●       | ○    | ●    | ●   | ●    | ●    | ●    | ●   | ●    | ●   | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●   | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    |                  |
| 報告第4号                |         |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      | 議長職のため採決には加わりません |
| 報告第5号                |         |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |                  |
| 報告第6号                |         |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |                  |
| 報告事項のため、採決はありません     |         |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |                  |
| 議案第53号               | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 議案第54号               | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 議案第55号               | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 議案第56号               | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 議案第57号               | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 議案第58号から<br>議案第81号まで | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 請願第2号                | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ●    | ●   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 請願第3号                | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 請願第4号                | 撤回されました |      |      |     |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |                  |
| 委員会提出議案第3号           | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ●    | ●   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
| 委員会提出議案第4号           | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |
|                      | ○       | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |                  |

## 5月臨時会で審議した議案の結果

|           |   |    |
|-----------|---|----|
| 報告第 2 号   | 専決処分について（事故による損害賠償）                     | 報告 |
| 報告第 3 号   | 専決処分について（事故による損害賠償）                     | 報告 |
| 議案第 5 0 号 | 専決処分について（八女市税条例の一部を改正する条例）              | 承認 |
| 議案第 5 1 号 | 八女市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について      | 可決 |
| 議案第 5 2 号 | 平成 2 9 年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計補正予算（第 1 号） | 可決 |

## 6月定例会で審議した議案の結果

|                            |  |        |
|----------------------------|--|--------|
| 平成28年請願第3号                 | 「ペット霊園設置の許可等に関する条例」の制定に関する請願                 | 不採択    |
| 報告第 4 号                    | 八女市土地開発公社の平成 2 8 年度決算及び平成 2 9 年度事業の計画の報告について | 報告     |
| 報告第 5 号                    | 平成 2 8 年度八女市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について          | 報告     |
| 報告第 6 号                    | 平成 2 8 年度八女市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について          | 報告     |
| 議案第 5 3 号                  | 八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について                | 可決     |
| 議案第 5 4 号                  | 財産の取得について（消防ポンプ車の購入）                         | 可決     |
| 議案第 5 5 号                  | 市道路線の認定について                                  | 可決     |
| 議案第 5 6 号                  | 平成 2 9 年度八女市一般会計補正予算（第 1 号）                  | 可決     |
| 議案第 5 7 号                  | 平成 2 9 年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第 1 号）         | 可決     |
| 議案第 5 8 号から<br>議案第 8 1 号まで | 農業委員会委員の任命について（2 4 人）                        | 同意     |
| 請願第 2 号                    | 教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願                       | 採択     |
| 請願第 3 号                    | 地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願                    | 採択     |
| 請願第 4 号                    | 市道酒井田線の道路拡張整備に関する請願                          | 撤回     |
| 委員会提出議案第3号                 | 教育予算の拡充を求める意見書                               | 可決     |
| 委員会提出議案第4号                 | 地方財政の充実・強化を求める意見書                            | 可決     |
|                            | 人権擁護委員候補者の推薦について                             | 適任と認める |

# インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/>

## 議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail [yame\\_city\\_gikai@city.yame.lg.jp](mailto:yame_city_gikai@city.yame.lg.jp)

## 次回定例会 8月30日(水)予定 立花庁舎議場 午前10時

近年、高齢ドライバーが交通事故の加害者となる事例が頻繁に報道されるようになってきました。加齢による判断力の減退に伴い、交通事故の加害者にも被害者にもなりやすくなっている高齢者。警察庁の調べでは、アクセルとブレーキの踏み間違いやハンドル操作の誤りなど「運転操作不適」が高齢者以外の7.5%に対し、高齢者は15.8%と倍の比率となっているそうです。

高齢ドライバーが関与する事故が増加する中、警察では「運転免許の自主返納」を呼びかけています。しかし、公共交通網が潤沢ではない八女市において、マイカーは日常生活を支える重要な交通手段であり、自主返納ができない、したくないのが実状だと思えます。

堀川バスでは、自主返納をして所定の手続きを

発行責任者  
議長 長川 誠二  
議会だより編集委員会  
委員長 田中 栄一  
副委員長 堤 康幸  
委員 松崎 辰義  
委員 大坪 久美子  
委員 中島 信二  
委員 服部 良一  
委員 伊井 渡  
委員 高橋 正敏  
委員 橋本 敏

7月に発生した九州豪雨によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。また被災された方にお見舞いを申し上げます。

災害はいついかに起きるか分かりません。常日頃からの備えを心がけておきましょう。



### ～6月定例会～

議会を傍聴されたみなさんの声を一部ご紹介します。

(原文のまま記載)

◆マイナンバーについての疑問、住民票コード(11ケタ)の通知が10数年前ありましたが、この住民票コードとマイナンバーの関係はどうなっていますか。

(60歳代・男性)

◆今回2回目短時間2人だけ傍聴でしたが、多岐にわたる質問があったので勉強になりました。今後も関心をもっていきたいと思います。

(60歳代・女性)

◆行政答弁が聴きとりにくかった。マイクを上手に使って欲しい。

(70歳代・女性)

## 編集後記



近年、高齢ドライバーが交通事故の加害者となる事例が頻繁に報道されるようになってきました。加齢による判断力の減退に伴い、交通事故の加害者にも被害者にもなりやすくなっている高齢者。警察庁の調べでは、アクセルとブレーキの踏み間違いやハンドル操作の誤りなど「運転操作不適」が高齢者以外の7.5%に対し、高齢者は15.8%と倍の比率となっているそうです。

高齢ドライバーが関与する事故が増加する中、警察では「運転免許の自主返納」を呼びかけています。しかし、公共交通網が潤沢ではない八女市において、マイカーは日常生活を支える重要な交通手段であり、自主返納ができない、したくないのが実状だと思えます。

堀川バスでは、自主返納をして所定の手続きを

